



ふじさわ体協

発行・編集 藤沢市体育協会 〒251-0026 藤沢市鶴沼東8-2 秩父宮記念体育館内

URL <http://www.fujisawa-taikyo.org/>

健康で豊かなスポーツライフに向けて 多世代が楽しむボウリング

アマカスボウリングアカデミー



アマカスボウリングアカデミーの皆さん

アマカスボウリングアカデミーは、2009年に「江の島キッズクラブ」としてスタートしました。小学生の子どもたちは下校後にどんな事をしているのか？家でゲームばかりしていて身体を動かしていないのではないか？ならば週に一度ボウリング場に来て楽しく身体を動かし運動不足を解消してもらおう！そんな思いから小学生を対象にスタートしました。

クラブの活動内容は、公益社団法人日本プロボウリング協会認定のプロボウラーが指導のもと、ボウリングの実技をはじめ、ルールやマナー、何よりもボウリングの楽しさを伝えることができました。

このような活動の中から、「もっと上手になりたい！」「将来プロボウラーになりたい！」「そんな子どもたちの声を聴き、「アマカスボウリングアカデミー」が2012年に設立されました。

設立後は従来の週1回の「藤沢市スポーツ少年団・江の島キッズクラブ」と週3回の「アカデミッククラス」の二本化をし、未来のトップボウラーを目指し日々活動を行っています。

現在では、小学生・中学生・高校生でも全国大会で入賞する選手も数多く在籍しています。これからも、ボウリングを通して、何事にも最後まで諦めない強い精神力・我慢強い心を養っていきます。



ストライク!

今年の8月には、「第11回全日本小学生ボウリング競技大会」に5人の選手が出場し、頑張りました。

ボウリングは老若男女問わずに体力に自信がない方でも気軽に始められるスポーツです。

是非、始めてみてはいかがでしょうか？
随時無料体験募集中です。 (柏木)

藤沢市ボウリング協会は、若手選手の育成、また健康増進のボウリング教室やチャリティの催しのため、アカデミー、江の島ボウル、湘南とうきゅうボウルと連携を図っています。

スポーツ都市宣言

10月10日、朝からの小雨も上がり、晴れ上がった空のもと、「藤沢市スポーツ都市宣言記念式典」が、鈴木市長、佐賀市議会議長、林体育協会会長はじめ9名が出席され、市役所分庁舎南側の記念碑前で行われました。(2面参照)



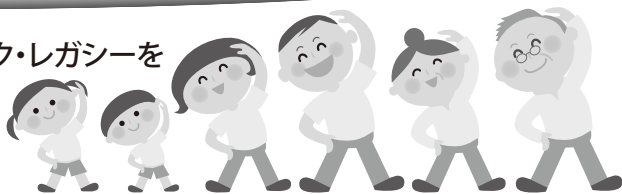
記念碑



記念式典

スポーツ都市宣言

健康で豊かなスポーツライフの実現をめざして、オリンピック・レガシーを未来へつなぐために、「スポーツ都市」の宣言がなされました。担当の神原生涯学習部長に、お話を伺いました。



- Q スポーツ都市宣言に込めた思いはどのようなところにあるのでしょうか。
- 神原部長 宣言の前文にあるとおり、子どもから高齢者まで、だれもがスポーツを楽しみ、健康で生き生きとした“まち”になることが宣言の大きな目標です。
- Q この宣言の特徴はどこにあるのでしょうか。
- 神原部長 スポーツ活動の推進はもとより、市の政策の重要な柱である「健康寿命日本一」とともに、誰もが多様性を尊重し共生できるまちの実現につなげることで賑わいのある住みよいまちをつくることを示したことは、他都市とは違う本市の特徴と言えます。
- Q 宣言に向けてご苦労されたことはありますか。
- 神原部長 2018年ごろから、宣言に向けて準備をしてきましたが、コロナ禍の中で、オリンピックの開催が1年延期され、スポーツ全体に対する不安もありました。しかしながら、オリンピック、パラリンピックを開催できたことは、オリンピックの理念である多様性、共生社会ということを改めて考える契機であったと思います。
- Q 宣言後のスポーツ政策についてお聞かせください。
- 神原部長 藤沢市で2度行ったオリンピックのレガシーとして、スポーツからまちの賑わいにつなげたいと思います。宣言の四つの文、スポーツに「親しみ、楽しみ、ふれあい、愛し」をスポーツ推進計画においても施策の柱とし、健康で豊かなスポーツライフが実現できるよう取り組みたいと思います。

スポーツまつり ふじさわ 2021

天気の恵まれた会場には多くの家族連れが来場し体育館内のスポーツライミング、球技場内のラクロス体験、野外ファミリーコーナーなどで小さな子供が楽しむ姿、ゲートボール体験、グラウンド・ゴルフ体験、ターゲットバードゴルフのような高齢者向けと思われる競技にも多くの家族連れがチャレンジしている姿はスポーツまつりに相応しい光景でした。

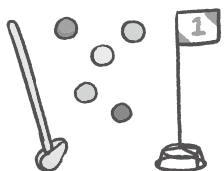
スポーツまつりふじさわ2021実行委員会の新海委員長のお話。



フライングディスク



グラウンド・ゴルフ体験



「スポーツまつりは、市民総体の代替えとして始まったのがきっかけで、初めはソフトバレーやグラウンド・ゴルフが中心でした。

今では、球技場と体育館を使用して、子どもたちや家族、高齢者が一緒になって取り組める多彩なスポーツが行われています。コロナ禍の中ですが、体を動かすこと、コミュニケーションをとることが、健康に何よりも大切です。スポーツの機会をふやし、楽しさを伝えることが、このスポーツまつりの役割と思っています。」

スポーツ連盟がスタートして、初めての大きな催しでしたが、多くの団体の協力があって、スムーズに運営されていました。

(谷本・杉淵)



スポーツクライミング



ラクロス体験



スラックライン

藤沢市カヌー協会主催 第12回 藤沢市カヌースプリント大会

今回で第12回目となりました藤沢市カヌースプリント大会兼藤沢市民総合体育大会継承大会カヌースプリント競技を10月31日(日)に開催しました。

会場は引地川の河口近く、竜宮橋護岸区の協会艇庫前に大会本部を設置し、20名の選手を受付け200メートルのオープンコースでスプリント競技を行いました。

種目は、①レーシング系カヤックシングル(レーシング系シーカヤック、サーフスキー含)②レーシング系カナディアンシングル、③ツーリング系カヤックシングル(シーカヤック、スラロームカヤック含む)①から③をさらに小学生男子/女子、中学生男子/女子、高校生男子/女子、シニア1(高校生を除く18歳~35歳)男子/女子、シニア2(36歳以上)男子/女子に区分し様々な年代の方々が楽しんでいただけるレース種目を設定しています。

競技方法はコースは200m、計測は種目別に2回ずつ計測し、合計タイムで順位を決定しました。

- 主な優勝者 ①レーシング系カヤックシングル/小学男子: 芦田湘海。中学男子: 鮫島陽太。
シニア男子: 板垣俊輔。シニア女子: 加藤圭織。シニア女子2: 加藤純子。
②ツーリング系カヤックシングル/小学男子: 石川颯。小学女子: 高山小輝。
シニア男子: 坂本達也。シニア女子: 佐藤容子でした。

また競技終了後には、参加者全員でエキシビジョンレースとして100m(50m回航)リレーを実施して大変盛り上がりしました。コロナ禍の影響はまだ続きますが、来年はより多くの方が参加頂ける様に告知の充実をはかり、藤沢市民のカヌーの祭典として盛り上げて行ければと思っています。お問い合わせは fujisawacanoe@gmail.com までどうぞ。



スプリント競技



大会を終えて

令和3年度 全国少年少女カヌー大会 男子カヤックシングル優勝!!

日本カヌー連盟主催

男子カヤックシングル優勝!!



7月16日(金)~18日(日)に河口湖町で行われた少年少女の全国大会で、藤沢市カヌー協会登録選手が見事優勝と2位入賞いたしました。(山口)



- | | | |
|------------|----|-------------------------------|
| 男子カヤックシングル | 1位 | 芦田 湘海(あしだしょう) |
| 男子カヤックペア | 2位 | 芦田 湘海(あしだしょう)
松田 遼(まつだりょう) |

アーチェリー協会

令和2年度は練習場である弓道場が約半年間利用できなく、自宅でもアーチェリー教室も体験事業ができな
り、主にアーチェリー協会の会員を
対象とした藤沢市
民総合体育大会継
承大会を11月10日
に御所見の森アー
チェリー練習場(市
内葛原)で実施しま
した。
参加人数上限20
名の制限の中、男
女19名が感染対策
を行いました。

素引きをしたり、古畳を重ねて近射したり、工夫をしながら練習してき
ました。
オリンピック・パラリンピックが
行われる年は、体験や教室の申し
込みが多く、
この秋も多く
の市民から問
い合わせがあ
りました。
来年度は以
前と同様に初
級教室や体験
イベントが実
施する出来
るよう願って
います。



参加者の皆さん

各加盟団体の取組

都市型スポーツ スケートボードに未来を スケートボード協会

東京五輪で、新競技の「スケートボード」において、日本人選手のメダルラッシュで日本にスケートボードブームを巻き起こしています。
多世代のスポーツライフの実現を目指すという藤沢市のスポーツ都市宣言にふさわしい「スケートボード」です。

藤沢市スケートボード協会は、平成31年4月に体育協会に加盟した新しい団体です。これから、新しい輝きをもつ可能性が高い。都市型スポーツには、都市環境との調和、競技志向のスケーターとアート志向のスケーターとの融合が注目されます。

スケーター人口が増える中、有料パーク設置は進んでいるが、アメリカやヨーロッパのように、無料で解放するスケートパークが藤沢市にはありません。横乗りスポーツの街藤沢市から、無料で誰でも楽しめるスケートパークを設置して、世界に誇れる未来のスケーターを藤沢市から育成しましょう。(清水)



スケートボーダー



都筑選手

銅メダルおめでとう 都筑有夢路選手

都筑有夢路選手の銅メダルが決まった瞬間、思わず席を立ち上がって『よし!』と片手でガッツポーズ!!
1回戦こそインターフェア(妨害行為)で敗者復活戦に回ることになりましたが、海外の強豪選手を相手に本来のライディングで2回戦はトップ通過、3回戦は世界4位の選手を破りラウンドアップ。

圧巻だったのは準々決勝、持ち味の深いボトムターンから波のトップで大きなアクションを連発し得点を重ね、終盤は波の優先権を与えず、世界3位の選手を相手に破り準決勝進出、「この調子でいけば絶対にいける!」とメダル獲得を確信。準決勝で世界1位の選手に敗れるものの、3位決定戦では波が安定しない厳しいコンディションの中、きっちりと得点を叩き出し勝利、見事に銅メダルを掴みました。

大会後に鈴木恒夫市長を表敬訪問、そして藤沢市市民栄誉賞に選ばれ都筑選手が通った市立湘洋中学校にてオンライン贈呈式が開催、鈴木市長から画面越しに賞状とオリジナルメダルが渡されました。

そして「ちょっと自分が嫌だなんていうことがあっても「やるしかない」という言葉を思い出してもらえたら。その言葉で一歩ずつ前に進んで行ってほしい!」と後輩たちにエールを送りました。長年、日本人は欧米選手に太刀打ちできないと言われて続けてきましたが、波のパワーがないと言われる地元鵠沼で育った選手の活躍は日本サーフィン界のみならず藤沢市民に大きな希望と勇気を与えてくれました。(サーフィン協会会長 佐賀)



市長表敬訪問

少年野球「湘南クラブ」 全国大会優勝!!



湘南クラブの皆さん

今夏に大阪で開催された第52回選手権大会にて、14年振りとなる優勝を果たすことができました。大会開催に向けてご尽力して頂いた方々、温かく見守って下さった地域の方々へ心から感謝申し上げます。
昨年の夏、現高校1年生達は激闘の神奈川予選を勝ち抜き、ようやくの思いで掴んだ全国大会への切符が決まった矢先、新型コロナウイルスの影響より中止が決定しました。全国への挑戦の機会さえ与えてもらえず、涙を流す先輩たちの姿を見てスタートしたのが今年のチームでした。
今年チームは例年と比べても守備・走塁に優れた選手が多い反面、身体が小さい選手が多く打撃力といった課題が長い間残っていました。

その為、冬は身体を大きくすること、1番に考え、練習だけでなく食生活にも力を入れました。

結果として子ども達の多くが体重増加に成功し、課題となっていた打撃力の改善にも繋がりました。
また投手陣は5人中4人が左投手という個性派が揃った代で選手権大会では一人一人が任せられたインニングでベストピッチしてくれたことも優勝の鍵となりました。

難しい状況下で沢山の我慢を強いられ、子ども達は本当に良く着いてきてくれたなと思います。練習も満足にできない仲間とも会うことができないなか、自身の課題と必死に向き合い続け成長し続けてくれた子ども達の集大成が14年振りの日本一へと導いてくれたと思います。
新チームでは、今年中止となってしまうジャイアンツカップへの出場、そして3度目の優勝を果たせるよう0からチームを作つていきたいと思えます。(湘南クラブ 佐藤)



歓喜の胸上げ

編集後記

多様性の尊重と多世代がスポーツを楽しむまの表現が、これからのキーワード。スポーツまつりはそのような雰囲気を出した。いろいろなスポーツが藤沢のまちに溶け込んでほしい。(杉刈)